

令和 8 年 2 月 5 日

大都市制度・行財政改革特別委員会

市民部市民協働・地域政策課
中央区 区 振興課
浜名区 区 振興課
天竜区 区 振興課

区再編と住民自治について

◆配付資料◆

- ・区再編の検証について

資料 1： 区再編の検証スケジュール
(住民自治)

資料 2： 区協議会の状況について

資料 3： 地区コミュニティ協議会の状況について

資料 4： コミュニティ担当職員の状況について

令和 7 年度 区再編の検証スケジュール

大項目	中項目	小項目	令和 7 年度	
			第1回 12月11日	第2回 2月5日
行財政 改革	正規職員数	◆正規職員 削減の状況	<input type="checkbox"/> 削減人数	
	組織	◆区役所	<input type="checkbox"/> 区役所 <input type="checkbox"/> 行政センター	
		◆本庁	<input type="checkbox"/> 福祉 <input type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> 土木 <input type="checkbox"/> 防災	
住民 自治	区協議会	◆代表会		<input type="checkbox"/> 開催回数 <input type="checkbox"/> 諮問等の件名、内容 <input type="checkbox"/> 答申等の内容、市の対応状況 <input type="checkbox"/> 区協議会委員等の所感
		◆地域分科会		<input type="checkbox"/> 開催回数 <input type="checkbox"/> 付託の件名、内容 <input type="checkbox"/> 地域課題の提案等の件名、内容 <input type="checkbox"/> 市への提案等の内容、市の対応状況 <input type="checkbox"/> 区協議会委員等の所感
	地区コミュニ ティ協議会	◆設立状況		<input type="checkbox"/> 設立地区 <input type="checkbox"/> 構成団体
		◆運用状況		<input type="checkbox"/> 開催回数 <input type="checkbox"/> 議事案件
	コミュニティ 担当職員	◆職員配置 状況	<input type="checkbox"/> 配置職員数	
		◆活動状況		<input type="checkbox"/> 地区コミ協のサポート内容 <input type="checkbox"/> 地域団体の会合への出席回数

区協議会の状況について

1 開催回数

区分	開催回数	
	R7 (R7. 1～12)	R6 (R6. 1～12)
中央区代表会	6 回 (うち書面 2 回)	6 回 (うち書面 2 回)
浜名区代表会	4 回	5 回 (うち書面 1 回)
天竜区協議会	12 回 (月 1 回)	12 回 (月 1 回)
中地域分科会		
東地域分科会		
西地域分科会		
南地域分科会		
北地域分科会		
浜北地域分科会		

(参考) 年間スケジュール

- ・ 代表会：市議会に議案を提案する時期にあわせて年 4 回程度開催
- ・ 地域分科会及び天竜区協議会：年 12 回程度

2 諮問等の件名、内容（地域分科会への付託を含む）

別紙のとおり

3 答申等の内容、市の対応状況

- ・ 諮問した全件について適切である答申を受けた。
- ・ 意見が付された答申については、答申を受けた翌年度の 7 月頃に所管課から意見への対応状況を区協議会に報告している。

4 地域課題の提案等の件名、内容

区	地域	主な件名[内容] (R7)	件数	
			R7	R6
中央区	中	・災害時の自助について[自宅避難や周辺の被害情報取得の方法] ・家庭ごみについて[正しい出し方や減量の取組み]	34	33
	東	・信号機がない市野郵便局前交差点の危険性について[車両通行の状況や安全対策] ・自主防災隊の知識及び活動について[浜松市防災士会との連携（協定締結等）に関する情報共有]	40	41
	西	・外国人や障がい者との交流について[翻訳サービス等を活用した交流促進] ・雑がみ回収の効率化について[より効果的な情報発信]	16	15
	南	・雨水対策について[南地域の浸水被害と雨水対策計画の情報共有] ・馬込川水門の工事実施状況について[浜松市沿岸の津波対策である馬込川水門の整備状況を確認]	14	6
浜名区	北	・釣橋川（三ヶ日町）における災害対策について ・ヌートリアの農作物被害対策について	50	41
	浜北	・ごみ排出のルール、課題等について[分別による出し方] ・市内の人身交通事故発生状況について	23	28
天竜区	天竜	・天竜区防災の現状について[被災した道路の復旧状況を中心に、区内の防災体制や復旧に係る情報を報告] ・保育ママ事業の要綱見直しと拡充について	20	32

- ・委員発意の提案や地区コミュニティ協議会からの要望をきっかけに、地域課題に関する議論が活発に行われている。
- ・地域分科会における議論や課題を市と共有し、連携して取組みを行うなど改善につながっている。

5 市への提案等の内容、市の対応状況（R6.1～R7.12）

区	地域	件 名 [内 容]	要望	回答
中央区	中	コミュニティ担当職員の配置等に関する意見と要望 [コミュニティ担当職員の配置について現場の声を尊重することなどを求めるもの]	R6.3	R6.4
		富塚地区のゾーン 30 プラス指定について	R7.1	R7.1
		三方原地区へのラウンドアバウト（小型）導入推進について	R7.5	R7.6
		浜松市所有の三方原防風林の活用について	R7.5	R7.6
		富塚地区のゾーン 30 プラス指定及び地区内の交通安全対策について	R7.6	R7.7
		三方原協働センター附設体育館壁面収納折畳みステージの設置について	R7.8	R7.11
	東	地域力向上事業（市民提案による住みよい地域づくり助成事業）の補助率について [補助率を 100%（現 50%）にすることを求めるもの]	R6.2	R6.3
		指定避難所の照明資機材の数量の検討及び備蓄について	R6.12	R7.3
	西	和地協働センター附設体育館壁面収納折畳みステージの設置について	R6.1	R6.3
浜名区	北	三ヶ日地区内の学校の教育環境について [学校の在り方や具体的な施策の提示を求めるもの]	R7.12	R8.2 (予定)
	浜北	浜北温水プールの再建と情報提供について	R6.8	R8.2 (予定)

- ・「ゾーン 30 プラスの指定」や「ラウンドアバウト型交差点の導入推進」など、要望をきっかけとして、市と地域が連携して取組みが進んでいる。
- ・直ちに対応が困難な案件についても、回答において、市の状況や考え方を示し、地域と課題を共有している。

6 区協議会委員等の所感

12 月に開催した区協議会会長会議における主な意見

区	地域	意見等
中央区	中	<ul style="list-style-type: none"> ・案件によっては、<u>代表会と地域分科会の両方で議論すべき案件もあるのではないか。</u> ・公の施設の設置や廃止など、施設の所在地で捉えて地域分科会で議論すべきものか、機能を捉えて全市的に議論すべきものか簡単に判断できない。
	東	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域分科会では、より地域に密接にかかわる課題について活発な話し合いができています。</u> ・代表会では各地域分科会からの報告が中心となっている。
	西	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に近いところで地域課題を話し合う地域分科会の役割は重要と考える。 ・<u>地域課題の話し合いを充実させるためには、所掌区域だけでなく、市全体や区域全体に関することも積極的に知る必要がある。</u>
	南	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の話し合いの内容を代表会で共有することは重要だと考えている。
浜名区	北	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ課題に対しても、区内の各地区で状況が異なることから、代表会のみで協議を完結させることは困難であると感じている。 ・市から、様々な計画や施策の説明を受けることで、活発な地域課題の話し合いにつながっている。
	浜北	<ul style="list-style-type: none"> ・区協議会として、<u>区の単位は重要であり、区域全体に関する案件は代表会で扱いたい。</u> ・パブリックコメントなど市全体に関することであっても、地域分科会で扱うことが多く、地域課題に関する協議が圧迫されている。
天竜区		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>区協議会の存在や活動を地域住民に知ってもらうことが重要であると考えている。</u>

7 その他（区協議会委員の改選）

令和 8 年 3 月 31 日で現委員の任期が満了となることから、改選後委員について、各地域分科会に設置された推薦会で検討中

(1) 委員定数

区協議会（地域分科会）		現在 R5. 4. 1～ R8. 3. 31	改選後 R8. 4. 1～ R11. 3. 31
中央区協議会	中地域分科会	25 人以内	20 人以内
	東地域分科会	20 人以内	20 人以内
	西地域分科会	25 人以内	20 人以内
	南地域分科会	20 人以内	20 人以内
浜名区協議会	北地域分科会	20 人以内	20 人以内
	浜北地域分科会	20 人以内	20 人以内
天竜区協議会		25 人以内	20 人以内



(2) 地区コミュニティ協議会委員の選出

地区コミュニティ協議会から委員を選出することとしている。

区	地域	委員	設立地区
中央区	中	3 人	富塚地区、三方原地区、萩丘地区
	東	-人	
	西	2 人	和地地区、入野地区
	南	-人	
浜名区	北	9 人	細江地区、三ヶ日地区、引佐地区（各 3 人）
	浜北	-人	
天竜区		-人	

区協議会案件一覧（諮問等の件名、内容及び付託の件名内容）

※地域分科会の○は、すべて代表会から付託された案件

区分	年	件 名 [内 容]	中央区協議会					浜名区協議会			天竜区協議会	
			代表会	中	東	西	南	代表会	北	浜北		
諮問	R6 1～12月	浜松市舞阪水産物荷捌き所の譲渡				○						
		浜松市立和地幼稚園の閉園				○						
		市営住宅小深田団地の廃止・解体							○			
		浜松市立平口幼稚園の閉園								○		
		浜松市立竜川幼稚園の閉園									○	
	R7 1～12月	（仮称）浜松市立舞阪こども園の設置並びに浜松市立舞阪幼稚園、 浜松市立舞阪第1保育園及び浜松市立舞阪第2保育園の廃止				○						
		浜松市立横山小学校の光明小学校への統合									○	
毎年 共通	区役所費の予算要求の概要		○	○	○	○		○	○	○		
協議	R6 1～12月	三組町倉庫新築整備工事		○								
	R7 1～12月	浜松市「休日の部活動の地域展開」に関するガイドラインの実施		○	○	○	○		○	○	○	
		公共施設複合化「佐鳴台地区」事業構想		○								
		春野地区における市立幼稚園の今後のあり方									○	
	毎年 共通	審議案件の棲み分け [定例的に地域分科会へ付託する案件をあらかじめ協議するもの]	○						○			
		区政運営方針	[各地域分科会の意見を踏まえた全体調整]	○						○		
			[将来像・基本方針・主な事業等に関する協議]		○	○	○	○			○	○
		地域力向上事業	助成事業の提案		○	○	○	○			○	○
			助成事業の事後評価		○	○	○	○			○	○
		パブリック・コメ ント	パブリック・コメントの取扱い [代表会または地域分科会のどちらで扱うかを 案件ごとに協議]		○	○	○	○			○	○
			所管課による説明 [浜松市中心市街地活性化ビジョン]		○	○	○	○	○			
			所管課による説明 [浜松市総合計画基本計画(案)ほか19件]		○	○	○	○			○	○
			市民活動表彰に係る団体推薦		○	○	○	○			○	○

区協議会案件一覧（諮問等の件名、内容及び付託の件名内容）

※地域分科会の○は、すべて代表会から付託された案件

区分	年	件 名 [内 容]	中央区協議会					浜名区協議会			天竜区協議会		
			代表会	地域分科会				代表会	地域分科会				
				中	東	西	南			北	浜北		
報告	R6 1～12月	勤労福祉施設の機能統合に伴う施設の大規模改修工事		○									
		浜松市立舞阪幼稚園の休園継続					○						
		弁天島海浜公園再整備事業						○					
		可美公園総合センター施設の休館							○				
		馬込川水門の工事実施状況							○				
		(仮称) 江ノ島ビーチコート整備・運営事業							○				
		浜北文化センターの料金改定										○	
		浜北温水プール劣化調査業務の結果										○	
		浜松市なゆた・浜北のなゆたホールの予約停止と周知										○	
		浜北コミュニティバスの運行改善										○	
		浜松市立竜川幼稚園及び浜松市立浦川幼稚園の休園継続											○
		天竜壬生ホールの予約停止と周知											○
		第3次浜松市中山間地域振興計画策定に係る座談会及びアンケート調査の実施結果	○								○	○	○
		第3次浜松市中山間地域振興計画骨子案	○								○	○	○
		第3次浜松市中山間地域振興計画案		○	○	○	○				○	○	○
	R7 1～12月	春野地区特別拠点回収終了											○
		馬込川水門の工事実施状況							○				
		浜北温水プール閉館に関する検証結果										○	
		浜松市高台幼稚園（浜名区細江町）の休園継続									○		
		浜松市舞阪幼稚園の休園継続					○						
	毎年 共通	区協議会からの意見・要望付き答申への市の対応状況の報告										○	○
		区役所費の当初予算及び主要事業の概要		○	○	○	○				○	○	○

地区コミュニティ協議会の状況について

1 設立状況（令和 7 年 12 月末時点）

No.	区分	地区数	摘 要
1	設立済	8	富塚、和地、細江、三ヶ日、三方原、入野、萩丘、引佐
2	設立予定	1	設立に向けて準備中
3	設立を検討する	4	他地区を参考に設立を検討
4	設立しない (今は判断しない)	37	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の組織で十分な地域活動ができている。 ・他地区の動向をみて判断したい。 ・携わる人材の継続的な確保が難しい。
計		50	

- ・各地区の活動事例等、地域への説明資料（別紙 1）を充実させ、毎年度、コミュニティ担当職員が地域のキーパーソンに対し、制度を説明するとともに設立の意向をヒアリングしている。
- ・コミュニティ担当職員が制度を理解し、地域に適切に説明できるよう、地区コミュニティ協議会の目的・意義（別紙 2）やコミュニティ担当職員の情報交換会による情報共有を充実させている。
- ・令和 7 年 7 月には、市自治会連合会の全体勉強会において、制度の説明及び設立済地区の会長等から活動状況を発表していただくなど地域の制度理解を深めた。
- ・地域が制度を理解したうえで、設立の判断をしていただけるよう、様々な機会を捉え制度の説明を行っていく。

2 運用状況

(1) 設立地区の活動状況（令和7年12月末時点）

名 称	構成団体	会議回数 上段 R6. 1～12 下段 R7. 1～12	議事案件等
富塚地区コミュニティ協議会 認定日：R6. 1. 4	地区自治会連合会、有識者	12 回 13 回	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題に関する協議（ゾーン 30 プラスの整備、空き家の所有者確認及び利活用等） ・「富塚大根&花火ラボトリー事業（R6 地域力向上事業）」に関する協議 など
和地コミュニティ協議会 認定日：R6. 1. 4	地区自治会連合会、社団和地地区コミュニティ協議会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員、地区音楽文化振興会、地区体育振興会、老人クラブ連合会、和地幼稚園、和地小学校、湖東中学校 ほか	10 回 12 回	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流スポーツイベント「和リンピック（R6、R7 地域力向上事業）」に関する協議 ・和地幼稚園閉園に伴う記録と記憶の継承事業（R7 地域力向上事業）に関する協議 ・和地地区防災委員会へ感謝状の贈呈に関する協議 など
細江まちづくり協議会 認定日：R6. 6. 3	地区自治会連合会、地区民生委員児童委員協議会、細江文化協会、奥浜名湖商工会、更生保護女性会、浜松学院大学、細江中学校、NPO法人、子育てサークル、区協議会委員、大学生 ほか	3 回 4 回	<ul style="list-style-type: none"> ・「皇室ゆかりの地再発見事業（細江公園マップの作成）（R6 地域力向上事業）」に関する協議 ・上皇后陛下歌碑の建立に関する協議 ・ウォーキング事業の開催に向けた協議 など
三ヶ日まちづくり協議会 認定日：R6. 6. 3	地区自治会連合会、三ヶ日町農業協同組合、地区民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、区協議会委員、NPO法人、三ヶ日観光協会、三ヶ日文化協会、地区青少年健全育成会、三松幼稚園 ほか	10 回 8 回	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題に関する協議（教育環境、廃園予定の私立幼稚園園舎の利活用等） ・「かわら版三ヶ日」の発行に関する協議 ・「自治会長と語る会」（まちづくり協議会と自治会長の座談会）による地域課題の協議 など
三方原地区コミュニティ協議会 認定日：R6. 8. 14	地区自治会連合会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区シニアクラブ連合会 ほか	7 回 11 回	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題に関する協議（ラウンドアバウト型交差点、三方原防風林の活用等） ・協働センターまつりパネル展示に関する協議 ・事業に関する協議（R8 地域力向上事業の活用検討） など

名 称	構成団体	会議回数 上段 R6. 1～12 下段 R7. 1～12	議事案件等
入野地区コミュニティ協議会 認定日：R6. 12. 1	地区自治会連合会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区保護司会、入野中学校区青少年健全育成会 ほか	1 回 5 回	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題に関する協議（ゾーン 30 プラスの整備等） ・「(仮称) 入野地区地域遺産マップ (R7 地域力向上事業)」に関する協議 ・地域防災及び避難所運営 (R8 地域力向上事業) に関する協議 など
萩丘地区コミュニティ協議会 認定日：R7. 7. 28	地区自治会連合会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、福祉関係団体 ほか	4 回 1 回	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の設立に向けた協議 ・地域づくりワーキング (R6 アドバイザー派遣事業) による地域づくりの協議 など
引佐まちづくり協議会 認定日：R7. 9. 10	地区自治会連合会、地区民生委員児童委員協議会、奥浜名湖商工会、奥浜名湖観光協会、シニアクラブ、いなさ人形劇まつり実行委員会、N P O 法人、浜松山里いきいき応援隊、区協議会委員 ほか	- 回 8 回	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題に関する協議（いなさみどりバスの乗車促進等） ・まちづくり協議会だよりの発行に関する協議 ・「いなさ人形劇まつり」等への運営支援に関する協議 など

- ・各地区コミュニティ協議会で、地域団体等と連携しながら地域課題に関する話し合いを進めている。
- ・一部の地区コミュニティ協議会では、会議だけでなく、次のステップとして地域力向上事業を活用して活動するなど、協働センター等と連携しながら地域課題の解決に関する事業を実施している。

(2) 市の対応

- ・令和 7 年 8 月に、地区コミュニティ協議会同士の情報交換会を開催し、委員、コミュニティ担当職員、エリアマネージャーと一緒に各地区の活動や課題について意見交換を行った。(5 地区、計 40 人参加)
- ・地区コミュニティ協議会事業費（1 地区あたり 50,000 円）について、市の直接執行により調達に時間がかかるなどの意見を踏まえ、令和 8 年度から同額を補助金として交付し、地域課題を話し合うための事務経費や会場経費のほか、一部を活動費として活用できるようにするなど、迅速かつ柔軟な運用を検討していく。

富塚地区コミュニティ協議会

構成 団体

地区自治会連合会、有識者

主な 活動

- ・ 交通（ゾーン30プラスの整備）に関する協議
- ・ 空き家の有効活用に関する協議
- ・ 富塚大根＆花火ラボラトリー事業の開催（地域力向上事業）

地域の 声

- ・ 地区と協働センターとの距離がより一層近くなり、話し合いができるようになった。
- ・ 何をもって「コミュニティ」なのかを議論し、「コミュニティ」の定義を明確にしていきたい。
- ・ 地域の歴史の発掘し、特色を出しながら、連帯感を深めていきたい。

設立の 経緯

R5.11～ 富塚協働センター説明会（2回）
R5.11.24 富塚地区コミュニティ協議会の設立検討会
R5.11.27 富塚協働センター説明会
R6. 1. 4 認定



会議の様子



富塚大根フェスティバル

和地コミュニティ協議会

構成 団体

地区自治会連合会、社団和地地区コミュニティ協議会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員、地区音楽文化振興会、地区体育振興会、老人クラブ連合会、和地幼稚園、和地小学校 ほか

主な 活動

- ・ 有機フッ素化合物（PFAS）を正しく知る講演会の開催（地域力向上事業）
- ・ 世代間交流スポーツイベント「和リンピック」の開催（地域力向上事業）
- ・ 和地小学校150周年記念「ふるさと和地 歴史かるた」の作成（地域力向上事業）
- ・ 小学6年生を対象とした「サイクルマナー教室」の開催

地域の 声

- ・ 各団体の問題や地域の課題について情報交換が進み、組織間の連携が深まった。
- ・ 地域の要望への回答を得やすくなった。

設立の 経緯

R5. 9.23 社団和地地区コミュニティ協議会での協議
R5.10.18 和地地区自治連合会会長会議での協議
R5.11.14 和地地区社会福祉協議会での協議
R5.12.22 設立総会
R6. 1. 4 認定



和リンピックの開催



ふるさと和地歴史かるた

細江まちづくり協議会

構成 団体

地区自治会連合会、地区民生委員児童委員協議会、細江文化協会、奥浜名湖商工会、更生保護女性会、浜松学院大学、細江中学校、地区体育振興会、NPO法人、子育てサークル、区協議会委員、大学生 ほか

主な 活動

- ・細江中学校生が提案するまちづくり「ホソトレ」プレゼンテーション、提案の事業化
- ・細江公園の環境美化、天然記念物の保護活動
- ・皇室ゆかりの地再発見事業（公園マップ作成、皇室写真展）（地域力向上事業）
- ・地域づくりワーキング（アドバイザー派遣事業）
- ・理事会

地域の 声

- ・団体が把握する課題や地域資源の共有が図られ団体間のつながりが強くなった。
- ・細江協働センターと地域との距離が縮まり、より相談しやすくなった。

設立の 経緯

R5. 9～ 理事会及び役員会にて設立検討会(6回)
R6. 3.19 細江地区自治会連合会にて説明・設立の同意
R6. 5.25 細江まちづくり協議会総会にて認定申請の議決
R6. 6. 3 認定



公園環境美化、保護活動



細江中学校 事業提案プレゼン

三ヶ日まちづくり協議会

構成 団体

地区自治会連合会、三ヶ日町農業協同組合、地区民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、区協議会委員、NPO法人、三ヶ日観光協会、三ヶ日文化協会、地区青少年健全育成会 ほか

主な 活動

- ・「かわら版三ヶ日」の発行
- ・「自治会長と語る会」の開催（まち協会長と自治会長の座談会）
- ・理事会、役員会

地域の 声

- ・コミュニティ協議会に認定されたことで、地域での認知が高まり、さらなる地域の協力が広まっていくことが期待できる。
- ・三ヶ日は自治会長が1年で交代するため、コミュニティ協議会の存在は地域にとって心強いものとなっている。

設立の 経緯

R6. 1.17 三ヶ日まちづくり協議会理事会（勉強会）
R6. 4.14 三ヶ日まちづくり協議会役員会（設立準備）
R6. 5.22 三ヶ日まちづくり協議会総会（設立総会）
R6. 6. 3 認定



かわら版三ヶ日



自治会長と語る会

三方原地区コミュニティ協議会

構成 団体

地区自治会連合会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区シニアクラブ連合会ほか

主な 活動

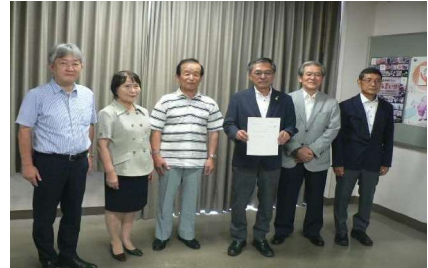
- ・災害時避難行動要支援者名簿に関する協議
- ・地域防災避難所等に関する協議
- ・広域防災倉庫に関する協議
- ・交通安全に関する協議
- ・三方原防風林跡地に関する協議

地域の 声

- ・団体が把握する課題や地域資源の共有が図られ、団体間のつながりが強くなった。
- ・単独では解決できない課題について、団体間で補完し合う機能が期待できる。

設立の 経緯

R6. 5～ 設立検討会（2回）
R6. 7.12 協議会設立総会
R6. 8.14 認定



認定式の様子

入野地区コミュニティ協議会

構成 団体

地区自治会連合会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区保護司会、入野中学校区青少年健全育成会ほか

主な 活動

- ・協議会の事業展開、広報活動等運営に関する協議
- ・協議会に関する広報媒体の発行
- ・地域の歴史編纂事業に関する協議
- ・佐鳴湖活用事業に関する協議
- ・地域づくりワーキング（アドバイザー派遣事業）

地域の 声

- ・団体が把握する課題や地域資源の共有が図られ団体間のつながりが強くなった。
- ・これまで1団体で取り組んでいた事業を、地域内の複数の団体で協働しながら取り組む考え方を持てた。

設立の 経緯

R6. 2～ 設立検討会（4回）
R6. 5.11 入野地区住民への説明
R6.10.25 「入野地区コミュニティ協議会」発足
R6.12. 1 認定



地域づくりワーキング



協議会の作成した広報媒体

萩丘地区コミュニティ協議会

構成 団体

地区自治会連合会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、ボランティア団体 ほか

主な 活動

- ・地域の声を聞き、地域課題を洗い出す仕組みの検討
- ・地域課題の解決に向けた協議

地域の 声

- ・地域で活躍するボランティア団体なども参加しており、幅広い意見の収集が期待される。
- ・萩丘地区は、区域が広大であるが、地域の多様な団体が連携して、一体感をもって活動していきたい。

設立の 経緯

R6. 4.26～ 設立検討会
R6. 8.23 アドバイザー研修会（第1回）
R6.10.25 アドバイザー研修会（第2回）
R6.12.13 アドバイザー研修会（第3回）
R7.3.14 「萩丘地区コミュニティ協議会」発足
R7.7.28 認定



アドバイザー研修会のワークショップの様子



任命式の様子

引佐まちづくり協議会

構成 団体

地区自治会連合会、地区民生委員児童委員協議会、奥浜名湖商工会、奥浜名湖観光協会、シニアクラブ いなさ人形劇まつり実行委員会、NPO法人、浜松山里いきいき応援隊、区協議会委員 ほか

主な 活動

- ・「地域力向上事業」等を活用しての地域課題解決
- ・「いなさみどりバス」の利用促進
- ・「引佐まちづくり協議会だより」の発行
- ・総会、理事会、企画会議

地域の 声

- ・団体が把握する課題や地域資源の共有が図られ、団体間のつながりが強くなった。
- ・支所コミュニティ担当との関係が深まり、助言・支援が受けやすくなった。

設立の 経緯

R7.4～ コミュニティ担当と設立に向けた意見交換
R7.5.29 引佐まちづくり協議会総会（設立の検討）
R7.8.4 引佐まちづくり協議会臨時総会（設立総会）
R7.8.19 引佐地区自治会連合会の同意
R7.9.10 認定



地域力向上事業
「引佐で直虎ビューポイントを探そう！」



「引佐まちづくり協議会だより」の発行

地区コミュニティ協議会（地区コミ協）について

地区コミ協の 目的

地域の課題を話し合う

地区コミ協は、地域のさまざまな団体が参画し、主体的に地域課題を話し合うことを目的とした組織です。

地域の声を市に届ける

地域振興及び地域課題の解決に関して、市の諮問機関である区協議会に提案、要望、意見を述べるすることができます。

地区コミ協の 意義

人口減少・高齢化や地域コミュニティの希薄化など、地域課題が複雑化する現代において、地域で活躍する様々な住民や団体が参加する地区コミ協が主体的に活動することは次のような意義があります。

地域の合意形成の場

地域の多様な立場が集まり、話し合うことで地域の共通認識を持つことができます。
また、地域の声を「地域全体の意見」として、行政に届けることができます。

住民主体のまちづくりの推進

住民の声を反映させ、「地域のことは地域で考える」主体的なまちづくりを進める仕組みとなります。

各団体・組織の連携強化

個々の団体の活動だけでは解決できない課題を連携して取り組むことができます。
また、情報を共有することで、事業の重複や抜けを防ぎ、地域全体で効率的な活動ができます。

地域資源の活用と課題解決

地域の人材・施設・歴史・自然環境などの地域資源を再発見し、地域の力を最大限に活かしたまちづくりを行うことができます。

地区コミ協ができた 背景

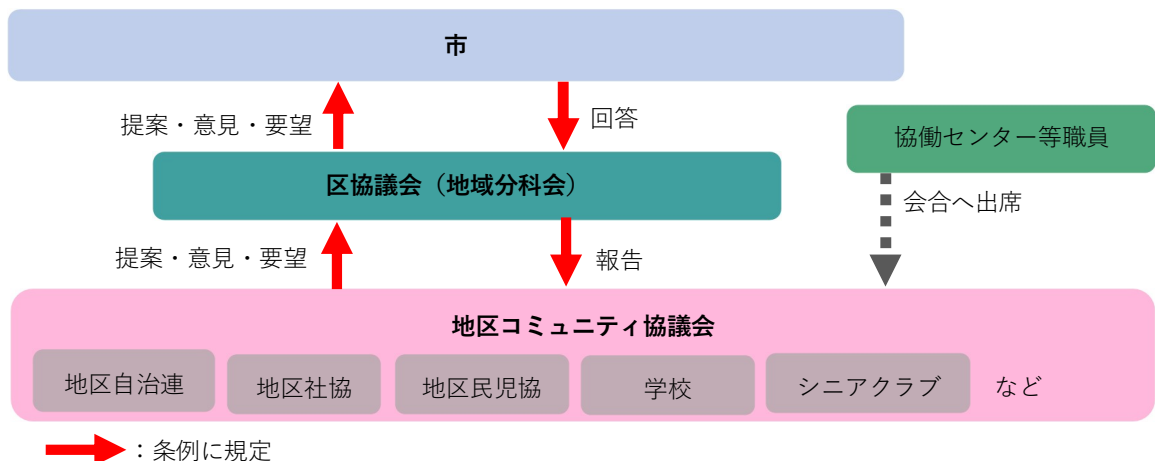
- ・本市では、令和6年に行政区を7区から3区に再編しました。行政区の再編にあたり、地域から「区が広くなることで、地域の声が市政に届かなくなるのでは」といった懸念の声が寄せられました。
- ・また、全国を見ると、人口減少や地域コミュニティ意識の希薄化などから、自治会という従来の住民自治制度が継続できなくなるケースが発生しています。
- ・そうした中、地域の各種団体を包含し、その声を市政に届けることのできる「地区コミュニティ協議会」制度を創設しました。
- ・一方で、自治会との役割の重複や役員の負担増を懸念する声があったことから、設置は地域の任意としています。

浜松市の サポート体制

- ・ 協働センター等のコミュニティ担当職員が、地区コミ協の設立を支援します。
- ・ 設立後は、協議会の会議に参加し、区協議会への提案、要望等に関する事務局的機能を担います。
- ・ 地区コミ協の会議費用については、浜松市が支援を行います。（1地区 50,000 円）

地区コミ協と 区協議会

- ・ 地区コミ協で、話し合った地域課題については、区協議会に提案、要望、意見を述べることができます。（区協議会から市に提案、要望、意見）



地区コミ協の 効果（地区コミ協の声）

○【富塚地区】ゾーン 30 プラスの取組み

富塚地区では、児童・生徒の通学路が通り抜けに使用されるなど、通学の安全確保が課題であった。地区コミ協としてゾーン 30 プラスの必要性を区協議会と共有し、市に届けることで市と連携しながら取組みを進めることができています。

○【和地地区】地域ニーズに応じた柔軟な事業展開

有機フッ素化合物（PFAS）による地域住民の不安やコミュニティ意識の希薄化などの課題はあったが、既存の団体では具体的な解決に向けた事業実施が困難であった。地区コミ協が市と協働で、「有機フッ素化合物（PFAS）を知る講演会」、「世代間交流スポーツイベント『和リンピック』」など地域ニーズに応じた事業展開ができた。

○【細江地区】地域の将来像を思い描く

細江まちづくり協議会は、姫様道中などへの協力が主な活動であった。地区コミ協として認定後、地区の人口推移を踏まえ地域の将来をメンバーで話し合うことで、住民主体のまちづくりに向けた意識を共有することができた。

○【三ヶ日地区】継続した地域課題の話し合い

三ヶ日地区は、自治会連合会長が1年で交代することから、地域課題を継続して協議していくことに困難さを感じていた。三ヶ日まちづくり協議会が設置されたことで、様々な意見を取り入れながら、継続して地域課題を話し合える土壌ができた。

コミュニティ担当職員の状況について

1 地区コミュニティ協議会のサポート状況

(1) 設立支援

- ・地域のキーパーソンに対する制度説明及び設立意向に関するヒアリング
- ・設立希望地区において、関係団体への声かけ、会議書類作成支援
- ・規約、認定申請書類等の作成支援

(2) 活動支援

- ・会議資料等の作成支援
- ・地区コミュニティ協議会やコミュニティ担当職員の情報交換会に参加し、他地区の活動状況把握
- ・地域団体とともに地域づくりワークショップに参加

(3) 地域力向上事業活用支援

- ・地域の課題解決に関する地域力向上事業等の活用提案
- ・協働センターとの協働による地域力向上事業の実施

2 地域団体の会合への出席回数

団体	出席回数（上段：R6、下段：R7）						天竜	活動・サポート内容等
	中央				浜名			
	中	東	西	南	北	浜北		
自治会（地区自治会連合会、単位自治会等）	163	65	82	63	52	53	64	・定例会への出席 ・地域課題に関する意見交換 ・関係部署への取り次ぎ、調整 ほか
	165	65	101	56	34	53	40	
学校（運営協議会等）	97	47	49	26	19	56	18	・定例会への出席 ・関係各所との連絡調整 ・地域人材の紹介 ほか
	104	56	52	23	25	54	20	
社会福祉協議会（地区社協、生活支援体制づくり協議体等）	18	18	10	21	4	13	3	・総会、定例会への出席 ・地域福祉に関する情報共有 ・子どもの居場所づくりに関する相談、協議 ほか
	22	14	13	18	6	12	4	
その他地域団体（体育振興会、自主防災隊、NPO法人等）	43	21	57	13	60	9	103	・総会、定例会への出席 ・地域イベントへの助言、連絡調整 ・地域力向上事業に係る連携、助成事業の申請補助、協働実施 ほか
	34	23	50	8	89	8	69	

3 コミュニティ担当職員の活動状況

- ・令和7年度には、新たに情報交換会を開催し、各コミュニティ担当職員の取組みや、地域とのかかわり方について情報交換を行った。
- ・コミュニティ担当職員が2名となった施設では、一層の地域の会議への参加のほか、地域団体からの相談対応や地域づくり事業に関する企画・立案に注力することができている。今後は人事異動のタイミングがずれることで、地域との関係性や業務引継ぎがスムーズになり、切れ目のない支援体制の構築が可能となる。